

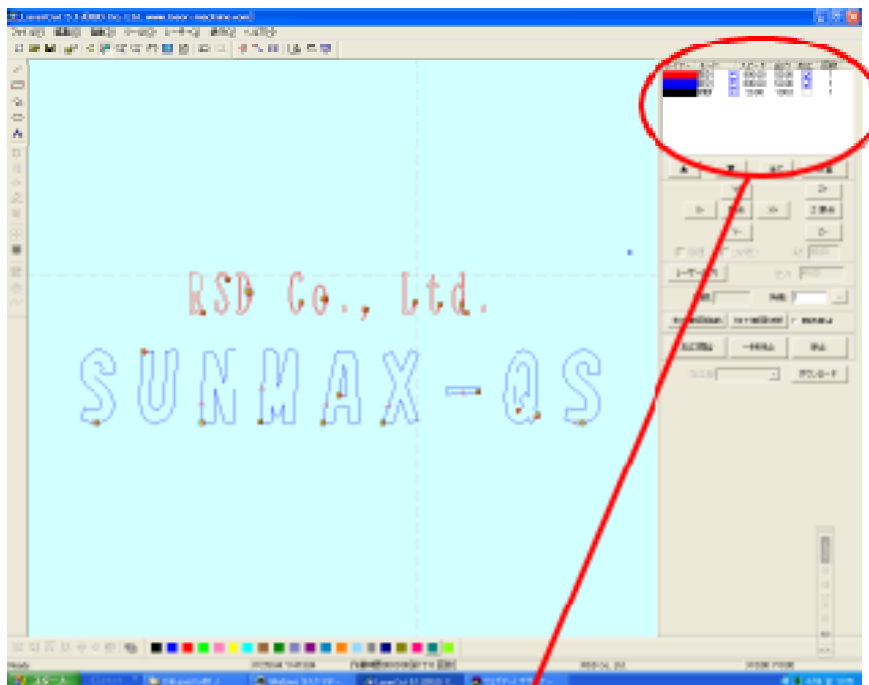
レイヤー操作時の致命的エラーの回避方法

RSD-QS 制御用ソフトウェア LaserCut の操作において、レイヤー操作を行った際に発生するアプリケーションの致命的エラーを回避するための技術資料です。

※ 最新の LaserCut5.3 にアップデートすることにより、この現象はなくなります。

【 現象 】

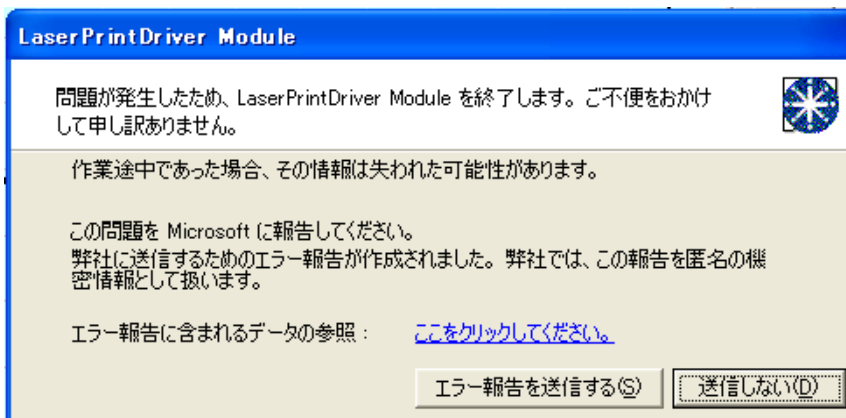
- ・現象は LaserCut の簡易編集機能によりデータを作成した場合、他のデザイン用ソフトウェアでデータを作成した後に LaserCut でインポートした場合を問わず発生します。
- ・レイヤーリストのカラー帯をマウスクリックした際に発生します。



レイヤー	モード	スピード	出力	加工	回数
	周刻	800.00	50.00	<input checked="" type="checkbox"/>	1
	周刻	800.00	50.00	<input checked="" type="checkbox"/>	1
	切断	20.00	100.0	<input type="checkbox"/>	1

レイヤーリストのカラー帯

・致命的なエラーが発生すると、下図のようなダイアログが表示され、LaserCut は強制終了します。保存していない編集内容はすべて無効となります。



Windows XP の場合

- ・その他、致命的ではない現象が発生します
 - ・カラー帯の色がおかしくなる。
 - ・デザイン画面上のレイヤー色と、レイヤーリストの内容が一致しない。
 - ・「『加工』 チェックボックス」を OFF にすると、二度とレイヤーリストに表示されなくなる。
 - ・ . . .

【 発生手順 】

レイヤー数を増やす、レイヤーの色を変更する、等のレイヤー操作をした後に、**ダウンロード操作を行う前に**1つ以上の「『加工』 チェックボックス」の設定を OFF にして、ダウンロード操作を行うと、その後、レイヤーリストのカラー帯をマウスクリックすることによって致命的エラーが発生します。

また、カラー帯のクリックを行わなくても、その他のレイヤー処理に多数の不具合が発生します。この状態で、データを保存しても、読み込んだ際にオブジェクトの消失などの問題が発生します。

【 回避方法 】

レイヤー操作により、レイヤー数が増加した場合、「『加工』 チェックボックス」がすべて ON の状態で、一度ダウンロード操作を行ってください。一度すべてのレイヤーの「『加工』 チェックボックス」が ON の状態でダウンロード操作を行えば、問題を回避することができます。

しかし、再びレイヤーの増加などがあった場合は、一度すべての「『加工』 チェックボックス」を ON に設定して、ダウンロードを行う必要があります。

【その他の注意点】

・レイヤーリストで操作を行う場合、デザイン画面上でオブジェクトが選択状態になっていないことを確認してください。選択状態のオブジェクトは、「『加工』 チェックボックス」をOFFにしても、デザイン画面上から消えません。その状態でダウンロード操作を行うと、何らかの不具合が発生する場合があります。